

第6章 日常生活圏域別の具体施策の展開

1 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査結果の概要

- ・本市に住む 65 歳以上の高齢者（要介護 1～5 の認定者を除く）のうち 6,000 人を無作為抽出し、郵送法による調査（期間：令和 5 年 2 月 20 日（月）～令和 5 年 3 月 17 日（金））を行いました。（配布数 6,000 件のうち、有効回収数 3,502 件、有効回収率 58.4%）

■調査結果より

圏域	前期・後期高齢者の割合	ひとり暮らし高齢者の割合	介護の必要性	要支援認定者の割合
市平均	前期 55.6%、後期 44.4%	22.0%	13.6%	4.3%
浦添中学校区	前期 51.2%、後期 48.8%	19.4%	13.4%	4.4%
仲西中学校区	前期 56.0%、後期 44.0%	26.8%	13.6%	3.7%
神森中学校区	前期 53.4%、後期 46.6%	21.5%	15.2%	4.2%
港川中学校区	前期 55.4%、後期 44.6%	24.8%	13.6%	5.2%
浦西中学校区	前期 62.1%、後期 37.9%	18.0%	12.0%	4.0%

- ・評価項目別の分析では、心身機能（運動器、転倒リスク、閉じこもり、栄養、口腔、認知機能、うつ）や日常生活（手段的自立度）ごとのリスク該当者を把握しました。
- ・心身機能の状況を日常生活圏域別にみると、特に神森中学校区で該当率が高くなっています。具体的な項目でみると、「栄養」以外の全ての項目において神森中学校区のリスク該当者割合が高いことがうかがえます。また、仲西中学校区も「閉じこもり」や「口腔」、「認知機能」、「うつ」の項目の該当者の割合が高くなっています。

		運動器	転倒	閉じこもり	栄養	口腔	認知機能	うつ
全体 (N=3,502)	該当者(人)	565	966	733	31	798	1,226	1,410
	該当率(%)	16.1	27.6	20.9	0.9	22.8	35.0	40.3
浦添 (n=723)	該当者(人)	113	193	145	5	161	256	297
	該当率(%)	15.6	26.7	20.1	0.7	22.3	35.4	41.1
仲西 (n=668)	該当者(人)	119	184	152	6	159	243	275
	該当率(%)	17.8	27.5	22.8	0.9	23.8	36.4	41.2
神森 (n=697)	該当者(人)	135	227	159	7	173	261	292
	該当率(%)	19.4	32.6	22.8	1.0	24.8	37.4	41.9
港川 (n=715)	該当者(人)	121	196	147	5	166	247	297
	該当率(%)	16.9	27.4	20.6	0.7	23.2	34.5	41.5
浦西 (n=699)	該当者(人)	77	166	130	8	139	219	249
	該当率(%)	11.0	23.7	18.6	1.1	19.9	31.3	35.6

5 圏域の中で最も該当率が高い
該当率が本市平均を上回っている

- ・高齢者が日常生活の中で行う比較的高度な動作を示す手段的自立度（IADL）の状況をみると、仲西中学校区と神森中学校区（いずれも 7.6%）、次いで港川中学校区（7.3%）のリスク該当率が高くなっています（市平均 6.7%）。外出控えの状況については、5 圏域全ての地区で 3 割程度の該当者が「控えている」としてはいますが、その要因として、主に「足腰の傷み」が挙げられています。それ以外の圏域ごとに差が大きい要因としては、港川中学校区で「外での楽しみがない」という回答や、浦添中学校区の「交通手段がない」という回答が多く見うけられます。
- ・外出時の移動手段について、浦添中学校区では「モノレール」が、港川中学校区では「路線バス」が他圏域と比べ回答が多く挙げられています。また、浦西中学校区では「自分で運転する自動車」の割合が他圏域や他の移動手段と比較して明らかに高い一方で、「徒歩」・「路線バス」・「タクシー」といった他の移動手段の割合が他圏域と比べ低い傾向にあります。
- ・高齢者の知的活動能力を指す「知的能動性」の状況をみると、神森中学校区（23.0%）と仲西中学校区（21.7%）のリスク該当率が高くなっています（市平均 18.8%）。
- ・ボランティアやスポーツ活動、通いの場など様々な地域活動への参加状況をみると、大半の活動項目に対し仲西中学校区の参加頻度が高くない状況がうかがえます。高齢者の介護予防にも繋がる「通いの場」や、生きがいつくりにも繋がる「老人クラブ」といった取り組みに対しても、7 割強～8 割弱の回答者が「参加していない」傾向にあります。
- ・疾病について、各圏域とも「高血圧」の割合が 4 割強～5 割弱と高くなっています。また、神森中学校区では「脳卒中」、「心臓病」、「糖尿病」の割合が他の圏域をいずれも上回っています。浦添中学校区では「高血圧」が、港川中学校区では「筋骨格系疾患」の割合が最も高くなっています。
- ・介護・介助が必要になった原因の 1 位をみると、浦添中学校区と浦西中学校区で「関節の病気」が、仲西中学校区と神森中学校区で「高齢による衰弱」、港川中学校区で「骨折・転倒」となっています。

以上を踏まえ、圏域別に高齢者の実状を概観すると、以下の通りとなります。なお、介護保険サービスの充実や介護予防・日常生活総合支援事業等を効果的に進めていくためには、各圏域の特性及び地域の実情に着目することが重要ですが、同時に、各種取り組みや対策の推進については市全体或いは全ての圏域に対して必要性を図っていくことが重要です。

浦添中学校区は、属性として「1 人暮らし高齢者の割合が比較的低く」、「介護の必要性は市平均値より低い」圏域となっています。

心身機能の状況としてリスク該当率の高い項目は多くないものの、「認知機能」や「うつ」の項目が市平均を上回っています。

日常生活の状況をみると、手段的自立度（IADL）の該当率は他圏域より高くない一方で、外出控えの要因として「交通手段がない」とする回答が多かった地域でもあります。圏域内をモノレールが運行していることから移動手段として活用が見られる一方、路線バスの活用割合が他圏域より低い状況にあります。

疾病の状況を評価項目別にみると、6項目中「高血圧」・「心臓病」・「糖尿病」・「筋骨格系疾患」が本市平均を上回っており、特に「高血圧」の割合は5圏域中最も高くなっています。また、介護・介助が必要となった原因の第1位が「関節の病気（リウマチ等）」となっており、栄養バランスの乱れからくる肥満傾向などは両疾病を発症・悪化させる危険因子ともなることから、健康づくり事業と連携した市民への健康増進の意識づけや肥満対策等の取り組みを検討する必要があります。

仲西中学校区は、属性として「1人暮らし高齢者の割合が比較的高い」圏域であり、本市全体の「介護の必要がある割合」の平均値と同程度となっています。

心身機能の状況を評価項目別にみると、7項目中5項目で該当率が本市平均を上回っており、特に「閉じこもり」の該当率は各圏域の中でも高いことがうかがえます。また、日常生活の状況をみると、手段的自立度（IADL）の該当率が他圏域と比べ高く、加えて社会参加の状況についても他圏域と比較して参加頻度が低い傾向にあることから、高齢者の社会参加や健康づくりを推進する取り組みを積極的に実施していく必要があります。

包括支援センターといった相談窓口については、認知度が低く、支援を必要とする高齢者の早期把握に繋がられるよう介護予防把握事業の強化が重要となります。

神森中学校区は、属性として「1人暮らし高齢者の割合が比較的低い」一方で、「介護の必要性が比較的高い」圏域となっています。

心身機能の状況を評価項目別にみると、7項目中「栄養」を除いた6項目全ての該当率が各圏域の中で最も高く、疾病についても「脳卒中」・「心臓病」・「糖尿病」の3疾病が他圏域と比較して高い割合となっています。「脳卒中」や「糖尿病」を要因として介護を必要とする割合も高い圏域であることから、糖尿病をはじめとした生活習慣病の予防に向けた健康づくり事業の強化が求められます。また、包括支援センターといった相談窓口の認知度が各圏域の中で最も低いため、支援を必要とする高齢者を取りこぼさないよう地域における支援ネットワークの拡充が急務となっています。

日常生活や社会参加の状況をみると、手段的自立度（IADL）・知的能動性ともに他圏域と比べリスク該当率が高いことがうかがえます。住み慣れた地域で自立した生活を推進していくためにも、介護予防や生きがいづくり、権利擁護の推進が重要となります。

港川中学校区は、属性として「1人暮らし高齢者の割合が比較的高い」圏域であり、本市全体の「介護の必要がある割合」の平均値と同程度となっています。

心身機能の状況をみると、7項目中「うつ」・「運動器」・「口腔」の該当率が比較的高くなっています。特に「運動器」については、疾病の該当項目で「筋骨格系疾患」が全圏域の中で最も高い割合となっていることや、介護・介助が必要になった要因として「骨折・転倒」の

該当者が最も多い地域であったことから、運動機能の維持・増進を目的とした取り組みの充実が求められます。

浦西中学校区は、属性として「1人暮らし高齢者の割合が比較的低く」、「介護の必要性は市平均値より低い」圏域となっています。

心身機能の状況を評価項目別にみると、「栄養」以外の6項目全てが市平均を下回っています。一方で、疾病については「高血圧」が比較的高く、介護・介助の要因になった要因についても「糖尿病」が高い割合となっていることから、生活習慣病の予防にむけた各種取り組み等を健康づくり事業と推進していく必要があります。

2 住民参加による施策の推進

施策の推進にあたっては、住民自らの積極的な取り組みが重要となります。したがって、日常生活圏域毎の施策は、「第4章 プランの具体的な取組（各論）」の施策を住民参加の視点で以下の通りに整理します。

目標1 高齢者がいつまでも自分らしくいきいきと暮らすまち

① 市民の健康長寿にむけた健康づくりの推進

- ・健康寿命を延伸するため、「健康・食育うらそえ21」の指針に基づいて日頃から食・栄養、身体活動・運動、歯・口腔、飲酒、喫煙等に気を配った生活を送りましょう。
- ・自らの健康状態を定期的に把握することは、疾病や生活習慣病、フレイル等を早期に発見・対応することができ、要介護状態への移行や疾病等の悪化を予防し、健やかで活力に満ちた生活を送ることにつながります。そのため、総合健診、長寿健診、歯周疾患検診等の各種健(検)診を定期的に受診し、健康状態の把握に努めましょう。また、長期未受診の方や働き盛り世代の方が受診を勧める案内を受けた際は、改めて自身の健康づくりを見直すきっかけとして、身近な医療機関を受診してみましょう。
- ・有所見となった場合には、きちんと保健指導を受け、適切な医療機関を受診し、高血圧や糖尿病などの生活習慣病、疾病等の早期対応に努めましょう。また、65歳以上の方であれば、介護予防事業の利用も検討しましょう。
- ・「てだこウォーク」、「スポーツの日の体力測定会」等の運動やスポーツイベントに参加しましょう。市内の社会体育施設を利用して、スポーツ活動を楽しみましょう。

② 介護予防と重度化防止の充実

- ・自分自身や家族の介護予防や介護、認知症について相談、支援が必要な場合には、地域包括支援センターや中学校区地域保健福祉センター等、身近な相談窓口にご相談しましょう。
- ・介護予防教室（生きいき健康クラブ、生きいき貯筋クラブ等）に参加し、フレイルや要介護状態にならないよう、心身機能の維持・改善に努めましょう。
- ・地域の自主サークル等に積極的に参加し、継続的な活動を行いましょう。また、参加の際は家族や友人、近隣の方などと誘い合って参加しましょう。
- ・地域での介護予防等の取り組みに対し、事業所や各種専門職は積極的に支援しましょう。
- ・既存の地域活動や身近な地域資源、自治会集会所等を活用し、心身機能が低下しても気軽に利用できる通いの場の充実に努めましょう。

③ 高齢者の活躍機会の充実

- ・老人クラブの地域活動や図書館ボランティア、歴史ガイド、ボランティア活動、地域活動にできるところから参加しましょう。
- ・「てだこ学園大学院」で地域のことなどを学んだり、中央公民館や高齢者3施設（老人福祉センター、地域福祉センター、かりゆしセンター）等で開催される各種講座に参加しましょう。
- ・まちづくりアカデミーが情報発信している市民の協働活動に参加してみましょう。
- ・これまでの経験や技術をいかして働いてみたいと考えている方は、浦添市ふるさとハローワークやシルバー人材センターの就業相談窓口を利用してみましょう。

目標2 医療や介護サービスを選択して希望する暮らしが続けられるまち

① 在宅医療・介護連携の推進

- ・医療及び介護に関する身近な相談窓口である浦添市在宅医療・介護連携支援センター「うらっしー」のホームページに在宅医療・介護関連事業サービスを提供している医療機関や介護事業所などが紹介されているので、必要な時は活用してみましょう。
- ・誰もが人生の最終段階における医療や介護、暮らし方などに関して本人や家族が自己決定でき、終活に取り組めるよう、講演会などに参加してこれからの人生を考えてみましょう。

② 医療と介護の連携による認知症への対応

- ・認知症は誰もがなりうるものであり、多くの人にとって身近なものとなっています。早期の発見・早期対応が大切であることから、認知症に関する理解を深めましょう。
- ・認知症に関する相談窓口や予防を含め、進行状況にあわせて、いつ、どこで、どのような医療や介護サービスを受けられるのかをまとめた「認知症ケアパス」を活用してみましょう。

③ ニーズに応じた介護保険サービスの提供

- ・介護サービスの利用について困った場合、また、支援が必要な場合には、地域包括支援センターや市の窓口を利用してきましょう。

④ 介護保険サービスの質の向上と制度の円滑な運営

- ・全国的に高齢化が進む中、介護職はニーズがとても高い仕事の一つです。介護職への関心がある方は、毎年11月11日の「介護の日」の各種イベントに参加したり、浦添市ふるさとハローワークなどの相談窓口を利用してきましょう。また、沖縄県が主導しているグッドジョブセンターおきなわでは中高年や女性などの各層に応じた職業紹介や相談サービスを受け付けているため、気軽に活用してみましょう。

目標3 安心安全な住まいと支え合いのあるまち

① ニーズに応じた住まいの支援

- ・住宅の確保が困難な場合（経済的な問題、保証人がいない等）や在宅での生活を継続するための住宅改修など住まいに関する相談・支援が必要な場合は、地域包括支援センターや中学校区地域保健福祉センターなど、身近な相談窓口にご相談しましょう。

② 安心安全な暮らしを支える取り組みの推進

- ・緊急時にかけつけた救急隊や搬送先医療機関等が迅速かつ適切な処置ができるよう、救急医療情報キット配布事業を利用しましょう。
- ・認知症サポーター養成講座を受講し、認知症に対する理解を深めるとともに、認知症の人やその家族の応援者となりましょう。認知症の人が困っている様子が見えたら、「なにかお手伝いすることがありますか」と一声かけてみましょう。
- ・認知症になっても地域に住み続けられる、地域で見守るという機運を高めましょう。浦添市認知症高齢者等見守りSOSネットワーク協力機関・協力者として参加しましょう。
- ・介護をされている方同士の交流に参加してみましょう。市内の事業所については、職員等の仕事と介護が両立できるよう、働きやすい環境づくりに取り組みましょう。
- ・災害・感染症の発生時にも、焦らず正しい知識をもって対応しましょう。

③ すべての人にやさしいまちづくり

- ・地域の敬老行事や地域活動に参加し、世代間交流を深めましょう。
- ・地域の支え合い活動にできるところから参加してみましょう。

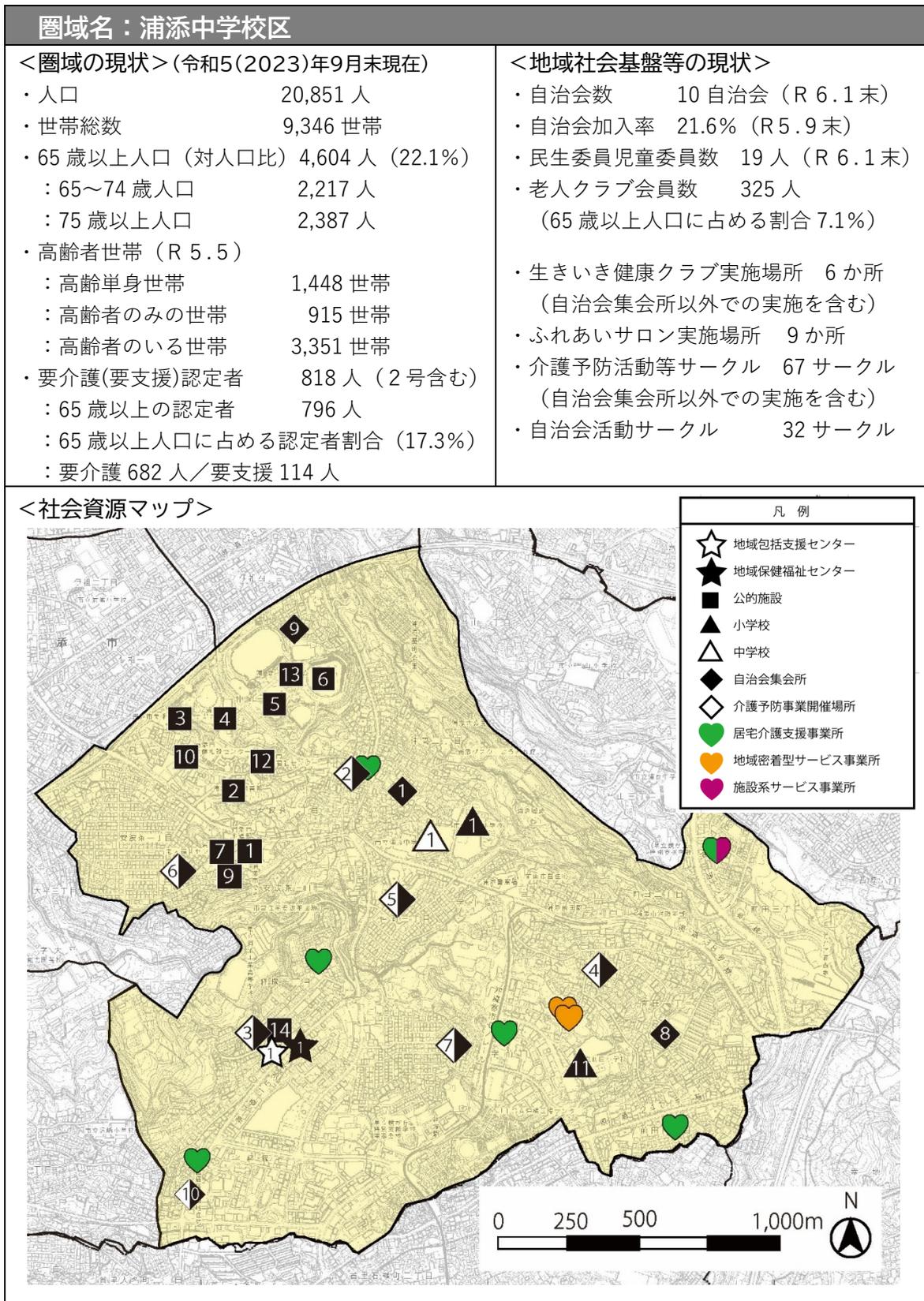
目標4 高齢者を支えるネットワークが充実したまち

① 地域包括ケアシステムの深化・推進のための基盤整備

- ・介護サービスの利用や困りごとについて、地域包括支援センター等の相談窓口を利用しましょう。
- ・高齢者、障がい児・者、児童・子育て・教育、生活困窮、健康づくりなどの相談窓口配置されている相談専門職員などは、困りごとのある高齢者や地域住民を把握したら、必要な支援へつなぐため相談窓口間の連携を強化しましょう。

3 日常生活圏域別の具体施策

上記に位置づけた施策等について、日常生活圏域単位で展開していく施策を以下に整理します。



圏域名：浦添中学校区

<社会資源一覧>

☆地域包括支援センター

番号	名称	所在地
1	浦添市地域包括支援センター さっとん	経塚1-17-1 浦添市経塚ゆいまーるセンター2階

★地域保健福祉センター

番号	名称	所在地
1	浦添中学校区保健福祉センター	経塚1-17-1 浦添市経塚ゆいまーるセンター2階

▲小学校

番号	名称	所在地
1	浦添小学校	仲間2-47-1
11	前田小学校	前田333

△中学校

番号	名称	所在地
1	浦添中学校	仲間2-46-1

■公的施設

番号	名称	所在地
1	浦添市役所	安波茶1-1-1
2	浦添市立図書館	安波茶2-2-1
3	浦添市美術館	仲間1-9-2
4	浦添市てだこホール	仲間1-9-3
5	浦添市民体育館	仲間1-13-1
6	浦添市民球場	仲間1-13-1
7	浦添市立中央公民館	安波茶1-1-2
9	浦添市老人福祉センター	安波茶1-1-3
10	浦添市保健相談センター	仲間1-8-1
12	浦添市社会福祉センター	仲間1-10-7

圏域名：浦添中学校区

番号	名称	所在地
13	浦添市温水プール「まじゅんらんど」	仲間1-13-1
14	浦添市経塚ゆいまーるセンター	経塚1-17-1

◆自治集会所および◇介護予防事業実施状況

番号	名称	所在地	生きいき健康クラブ実施◇	ふれあいサロン実施	ピラティス体操サークル実施	いきいき百歳体操サークル実施◇
1	仲間自治会集会所	仲間2-35-2		○	○	
2	安波茶自治会集会所	安波茶2-7-1	○	○		
3	経塚自治会集会所	経塚1-17-1	○	○		○
4	前田自治会集会所	前田1-28-7	○	○	○※1	○
5	茶山自治会集会所	仲間3-4-1	○	○		
6	浦添ニュータウン自治会集会所	安波茶1-13-9	○	○		
7	浦添グリーンハイツ自治会集会所	前田862-219	○	○		
8	前田公務員宿舎自治会集会所	前田1-55-19-104号	-	-※2	-	-
9	浦添ハイツ自治会集会所	仲間1-17-8		○		
10	県営経塚団地自治会集会所	字経塚560		○		○

※1：前田地区ピラティス体操サークルは高齢者有料賃貸住宅ちゅらとびあ前田にて実施

※2：前田公務員宿舎で実施の「ふれあいサロン」は幼児親子対象のため項目より除外

<地区の将来人口等>

	(現状)		(将来推計)				(単位：人)
	R 2 2020	R 5 2023	R 6 2024	R 7 2025	R 8 2026	R 12 2030	
・人口	23,066	20,851	20,914	20,914	20,917	20,874	
・65歳以上人口	5,007	4,604	4,700	4,777	4,868	5,138	
・65～74歳人口	2,534	2,217	2,215	2,192	2,184	2,169	
・75歳以上人口	2,473	2,387	2,493	2,604	2,712	3,022	
・要介護(要支援)認定者	724	796	837	861	887	983	

※将来推計は、令和5(2023)年9月現在の各地区の市全体に対する割合で算出 各年9月

※要介護(要支援)認定者数は65歳以上(第1号被保険者) / R5数値は令和5年3月末時点

<地区レベルの施策> (○住民参加による施策の推進 ※関係機関等による施策の推進)

目標1 いつまでも自分らしくいきいきと暮らすまち

- 総合健診等の各種健(検)診を定期的を受診し、自分の健康状態を把握しましょう。そして若いうちから、高血圧などの生活習慣病予防やフレイル予防に取り組み、健康の保持増進に努めましょう。
- 「てだこウォーク」などの運動やスポーツのイベントに参加しましょう。
- 介護予防普及啓発事業に、友人や地域の方と誘い合って参加しましょう。

圏域名：浦添中学校区

※介護予防に関わる専門機関等は地域の介護予防に関するニーズを把握し、認知症予防やうつ予防・支援についても取り組みます。

○既存の地域活動や身近な地域資源、自治公民館等を活用し、心身機能が低下しても気軽に利用できる通いの場の充実に努めましょう。

※関係機関の連携のもと、歩いて通うことのできる場所で通いの場が実施できるよう働きかけます。

○地域の老人クラブ活動やボランティア活動に参加しましょう。

○中央公民館や老人福祉センター等を利用し、自主サークルの活動に取り組みましょう。

○自治会集会所や老人福祉センター等で開催される生涯学習講座等を受講しましょう。

○市民体育館やまじゅんらんど等社会体育施設を活用し、スポーツを楽しみましょう。

目標2 医療や介護サービスを選択して希望する暮らしが続けられるまち

○認知症について、早期の発見・早期対応が大切であることから、認知症に関する理解を深めましょう。

○人生の最終段階における医療や介護、暮らし方などに関して本人や家族が自己決定できるよう、人生について考えてみましょう。

目標3 安心安全な住まいと支え合いのあるまち

○地域の敬老行事や地域活動に参加し、世代間交流を深めましょう。

○災害等に備えて、自治会や自主防災組織等が開催する避難訓練に参加するとともに、日頃から地域でいさつや声かけを行いましょう。

○「災害時要援護者避難支援制度」への理解を深め、避難時に支援が必要な高齢者等へは登録を促しましょう。

目標4 高齢者を支えるネットワークが充実したまち

○相談、支援が必要な場合は、「地域包括支援センターさっとん」等の身近な相談窓口を利用しましょう。

＜圏域内の地域密着型サービス＞

・小規模多機能型居宅介護 1か所

・認知症対応型共同生活介護 1か所

圏域名：仲西中学校区

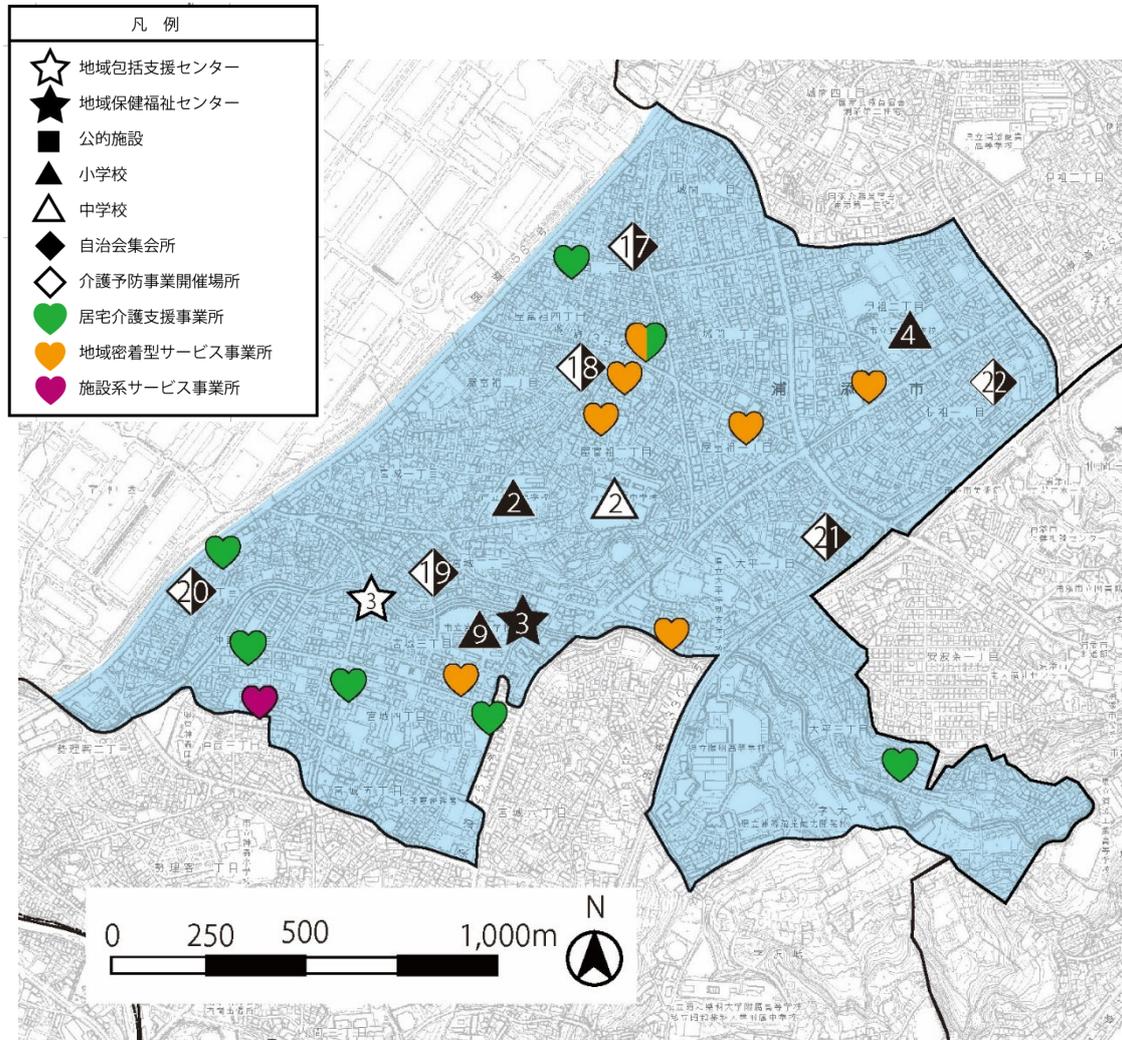
<圏域の現状> (令和5(2023)年9月末現在)

- ・人口 31,660 人
- ・世帯総数 15,476 世帯
- ・65歳以上人口(対人口比) 6,686人(21.1%)
 - ：65～74歳人口 3,545人
 - ：75歳以上人口 3,141人
- ・高齢者世帯(R5.5)
 - ：高齢単身世帯 2,463世帯
 - ：高齢者のみの世帯 1,144世帯
 - ：高齢者のいる世帯 5,034世帯
- ・要介護(要支援)認定者 1,104人(2号含む)
 - ：65歳以上の認定者 1,073人
 - ：65歳以上人口に占める認定者割合(16.0%)
 - ：要介護908人/要支援165人

<地域社会基盤等の現状>

- ・自治会数 6自治会(R6.1末)
- ・自治会加入率 13.6%(R5.9末)
- ・民生委員児童委員数 17人(R6.1末)
- ・老人クラブ会員数 244人
(65歳以上人口に占める割合3.6%)
- ・生きいき健康クラブ実施場所 5か所
(自治会集会所以外での実施を含む)
- ・ふれあいサロン実施場所 0か所
- ・介護予防活動等サークル 33サークル
(自治会集会所以外での実施を含む)
- ・自治会活動サークル 28サークル

<社会資源マップ>



圏域名：仲西中学校区

<社会資源一覧>

☆地域包括支援センター

番号	名称	所在地
3	地域包括支援センター ライフサポート	宮城3-13-11 つばめ荘102号

★地域保健福祉センター

番号	名称	所在地
3	仲西中学校区 地域保健福祉センター	宮城3-7-3-1 (浦添市みやぎ希望の森 コミュニティセンター1階)

▲小学校

番号	名称	所在地
2	仲西小学校	屋富祖2-32-1
4	浦城小学校	伊祖2-13-1
9	宮城小学校	宮城3-7-3

△中学校

番号	名称	所在地
2	仲西中学校	屋富祖2-13-1

◆自治集会所および◇介護予防事業実施状況

番号	名称	所在地	生きいき健康クラブ実施◇	ふれあいサロン実施	ピラティス体操サークル実施	いきいき百歳体操サークル実施◇
17	城間自治会集会所	城間1-9-1	○			
18	屋富祖自治会集会所	屋富祖3-1-1	○		○	○
19	宮城自治会集会所	宮城2-22-3	○			
20	仲西自治会集会所	仲西1-3-11	○			
21	大平自治会集会所	大平1-15-5	○			
22	浅野浦自治会集会所	伊祖1-25-2				○

圏域名：仲西中学校区

<地区の将来人口等>	（現状）		（将来推計）			（単位：人）
	R 2 2020	R 5 2023	R 6 2024	R 7 2025	R 8 2026	R 12 2030
・人口	29,739	31,660	31,756	31,756	31,760	31,695
・65歳以上人口	5,884	6,686	6,825	6,937	7,070	7,462
・65～74歳人口	3,132	3,545	3,542	3,505	3,492	3,469
・75歳以上人口	2,752	3,141	3,280	3,426	3,569	3,976
・要介護(要支援)認定者	997	1,073	1,129	1,161	1,196	1,325

※将来推計は、令和5（2023）年9月現在の各地区の市全体に対する割合で算出 各年9月末
 ※要介護（要支援）認定者数は65歳以上（第1号被保険者）／R5数値は令和5年3月末時点

<地区レベルの施策>（○住民参加による施策の推進 ※関係機関等による施策の推進）

目標1 高齢者がいつまでも自分らしくいきいきと暮らすまち

- 総合健診等の各種健(検)診を定期的を受診し、自分の健康状態を把握しましょう。そして若いうちから、がんや高血圧などの生活習慣病予防やフレイル予防に取り組み、健康の保持増進に努めましょう。
- 「てだこウォーク」などの運動やスポーツのイベントに参加しましょう。
- 介護予防普及啓発事業に、友人や地域の方と誘い合って参加しましょう。
- ※介護予防に関わる専門機関等は地域の介護予防に関するニーズを把握し、運動器の機能の維持向上と低栄養対策、口腔ケア、閉じこもりや認知症予防、うつ予防・支援についても取り組みます。
- 既存の地域活動や身近な地域資源、自治公民館等を活用し、心身機能が低下しても気軽に利用できる通いの場の充実に努めましょう。
- ※関係機関の連携のもと、歩いて通うことのできる場所で通いの場が実施できるよう働きかけます。
- 地域の老人クラブ活動やボランティア活動に参加しましょう。
- 自治会集会所等を利用し、自主サークルの活動に取り組みましょう
- 自治会集会所等で開催される生涯学習講座等を受講しましょう。
- 小中学校の体育館や社会体育施設等を活用し、スポーツを楽しみましょう。

目標2 医療や介護サービスを選択して希望する暮らしが続けられるまち

- 認知症について、早期の発見・早期対応が大切であることから、認知症に関する理解を深めましょう。
- 人生の最終段階における医療や介護、暮らし方などに関して本人や家族が自己決定できるよう、人生について考えてみましょう。

目標3 安心安全な住まいと支え合いのあるまち

- 地域の見守り等の福祉活動に参加してみましよう。ゴミ出し等ちょっとしたお手伝いができる体制を地域で検討してみましよう。
- 地域の敬老行事や地域活動に参加し、世代間交流を深めましよう。
- 災害等に備えて、自治会や自主防災組織等が開催する避難訓練に参加するとともに、日頃から地域であいさつや声かけを行いましよう。
- 「災害時要援護者避難支援制度」への理解を深め、避難時に支援が必要な高齢者等へは登録を促しましよう。

目標4 高齢者を支えるネットワークが充実したまち

- 相談、支援が必要な場合は、「地域包括支援センターライフサポート」等の身近な相談窓口を利用しましよう。

<圏域内の地域密着型サービス>

- ・地域密着型通所介護（デイサービス） 4か所
- ・小規模多機能型居宅介護 2か所
- ・認知症対応型共同生活介護 1か所

圏域名：神森中学校区

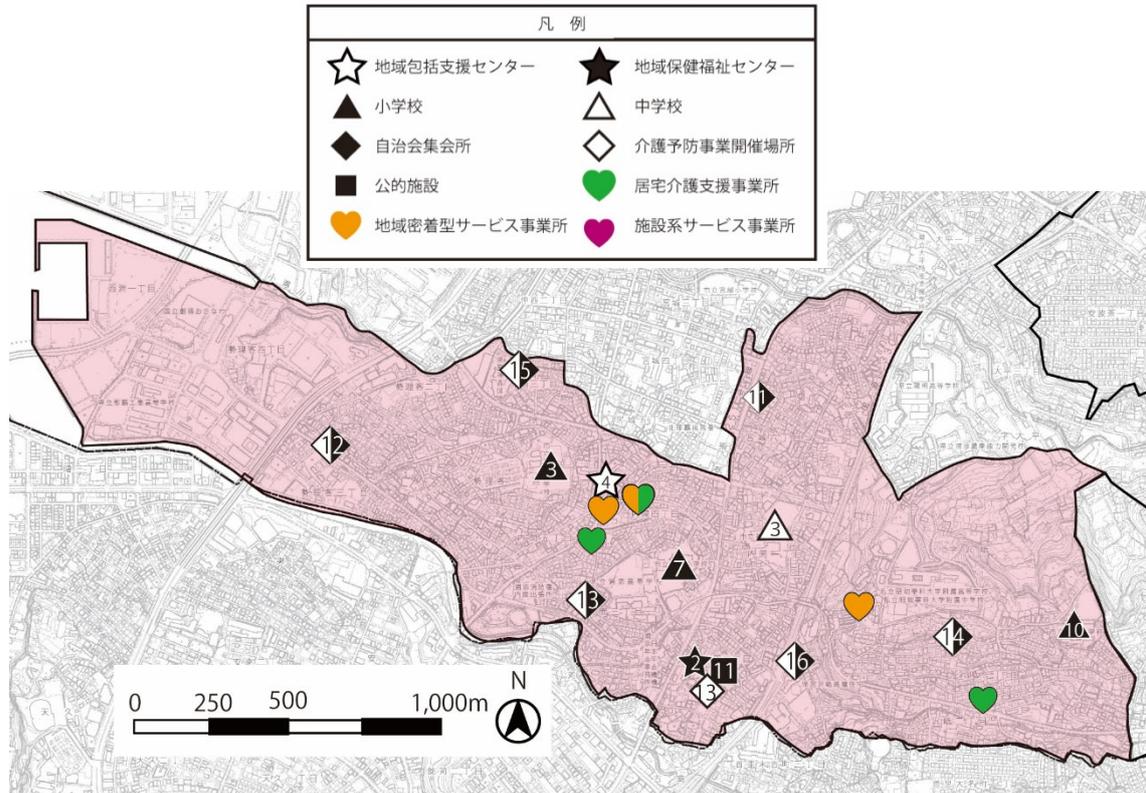
<圏域の現状> (令和5(2023)年9月末現在)

- ・人口 23,930 人
- ・世帯総数 11,113 世帯
- ・65歳以上人口(対人口比) 5,010 人 (20.9%)
 - ：65～74歳人口 2,513 人
 - ：75歳以上人口 2,497 人
- ・高齢者世帯 (R 5.5)
 - ：高齢単身世帯 1,642 世帯
 - ：高齢者のみの世帯 887 世帯
 - ：高齢者のいる世帯 3,726 世帯
- ・要介護(要支援)認定者 814 人 (2号含む)
 - ：65歳以上の認定者 788 人
 - ：65歳以上人口に占める認定者割合 (15.7%)
 - ：要介護 655 人 / 要支援 133 人

<地域社会基盤等の現状>

- ・自治会数 6自治会 (R 6.1末)
- ・自治会加入率 19.0% (R 5.9末)
- ・民生委員児童委員数 19人 (R 6.1末)
- ・老人クラブ会員数 176人
(65歳以上人口に占める割合 3.5%)
- ・生きいき健康クラブ実施場所 7か所
(自治会集会所以外での実施を含む)
- ・ふれあいサロン実施場所 5か所
- ・介護予防活動等サークル 30サークル
(自治会集会所以外での実施を含む)
- ・自治会活動サークル 23サークル

<社会資源マップ>



圏域名：神森中学校区

<社会資源一覧>

☆地域包括支援センター

番号	名称	所在地
4	浦添市地域包括支援センター ていだ	内間4-23-21

★地域保健福祉センター

番号	名称	所在地
2	神森中学校区 地域保健福祉センター	内間2-18-2-101号(浦添市地域福祉センター内)

▲小学校

番号	名称	所在地
3	神森小学校	勢理客1-4-1
7	内間小学校	内間4-3-1
10	沢岷小学校	沢岷998

△中学校

番号	名称	所在地
3	神森中学校	内間1-6-1

■公的施設

番号	名称	所在地
11	浦添市地域福祉センター	内間2-18-2-101号

◆自治集会所および◇介護予防事業実施状況

番号	名称	所在地	生きいき健康クラブ実施◇	ふれあいサロン実施	ピラティス体操サークル実施	いきいき百歳体操サークル実施◇
11	小湾自治会集会所	宮城6-13-1	○	○		
12	勢理客自治会集会所	勢理客2-19-20	○	○		
13	内間自治会集会所	内間3-15-1	○※1		○※2	○
14	沢岷自治会集会所	沢岷1-31-1	○	○		
15	神森自治会集会所	仲西3-11-1 1号棟1階	○	○		○
16	県営沢岷高層住宅自治会集会所	沢岷2-18-1	○	○		

※1：内間地区生きいき健康クラブは浦添市地域福祉センターおよび自治会集会所にて実施

※2：内間地区ピラティス体操サークルは浦添市地域福祉センターにて実施

圏域名：神森中学校区

＜地区の将来人口等＞

	(現状)		(将来推計)			(単位：人)
	R 2 2020	R 5 2023	R 6 2024	R 7 2025	R 8 2026	R 12 2030
・人口	24,163	23,930	24,003	24,003	24,006	23,956
・65歳以上人口	4,730	5,010	5,114	5,198	5,298	5,591
・65～74歳人口	2,397	2,513	2,511	2,485	2,476	2,459
・75歳以上人口	2,333	2,497	2,608	2,724	2,837	3,161
・要介護(要支援)認定者	668	788	829	852	878	973

※将来推計は、令和5(2023)年9月現在の各地区の市全体に対する割合で算出 各年9月末

※要介護(要支援)認定者数は65歳以上(第1号被保険者) / R5数値は令和5年3月末時点

＜地区レベルの施策＞ (○住民参加による施策の推進 ※関係機関等による施策の推進)

目標1 高齢者がいつまでも自分らしくいきいきと暮らすまち

- 総合健診等の各種健(検)診を定期的を受診し、自分の健康状態を把握しましょう。そして若いうちから、脳卒中やその要因となりやすい高血圧などの生活習慣病予防・フレイル予防に取り組み、健康の保持増進に努めましょう。
- 「ただこワーク」などの運動やスポーツのイベントに参加しましょう。
- 介護予防普及啓発事業に友人や地域の方と誘い合って参加しましょう。
- ※介護予防に関わる専門機関等は地域の介護予防に関するニーズを把握し、運動器の機能の維持向上と転倒予防、低栄養対策、口腔ケア、閉じこもりや認知症予防、うつ予防・支援についても取り組みます。
- 既存の地域活動や身近な地域資源、自治会集会所を活用し、心身機能が低下しても気軽に利用できる通いの場の充実に努めましょう。
- ※関係機関の連携のもと、歩いて通うことのできる場所で通いの場が実施できるよう働きかけます。
- 地域の老人クラブ活動やボランティア活動に参加しましょう。
- 中学校区地域保健福祉センターや自治会集会所等を利用し、自主サークルの活動に取り組みましょう。
- 自治会集会所等で開催される生涯学習講座等を受講しましょう。
- 小中学校の体育館や社会体育施設等を活用し、スポーツを楽しみましょう。

目標2 医療や介護サービスを選択して希望する暮らしが続けられるまち

- 認知症について、早期の発見・早期対応が大切であることから、認知症に関する理解を深めましょう。
- 人生の最終段階における医療や介護、暮らし方などに関して本人や家族が自己決定できるよう、人生について考えてみましょう。

目標3 安心安全な住まいと支え合いのあるまち

- 地域の見守り等の福祉活動に参加してみましょう。
- ゴミ出し等ちょっとしたお手伝いができる体制を地域で検討してみましょう。
- 災害時に備えて、自治会や自主防災組織等が開催する避難訓練に参加するとともに、日頃から地域であいさつや声かけを行いましょ。
- 「災害時要援護者避難支援制度」への理解を深め、避難時に支援が必要な高齢者等へは登録を促しましょう。
- 住み慣れた地域で暮らし続けていくために、身近な地域にある介護保険サービスや医療サービス等を利用しましょう。

目標4 高齢者を支えるネットワークが充実したまち

- 相談、支援が必要な場合には、「地域包括支援センターていだ」等の身近な相談窓口を利用しましょう。

＜圏域内の地域密着型サービス＞

- ・地域密着型通所介護(デイサービス) 1か所
- ・認知症対応型共同生活介護 2か所

圏域名：港川中学校区

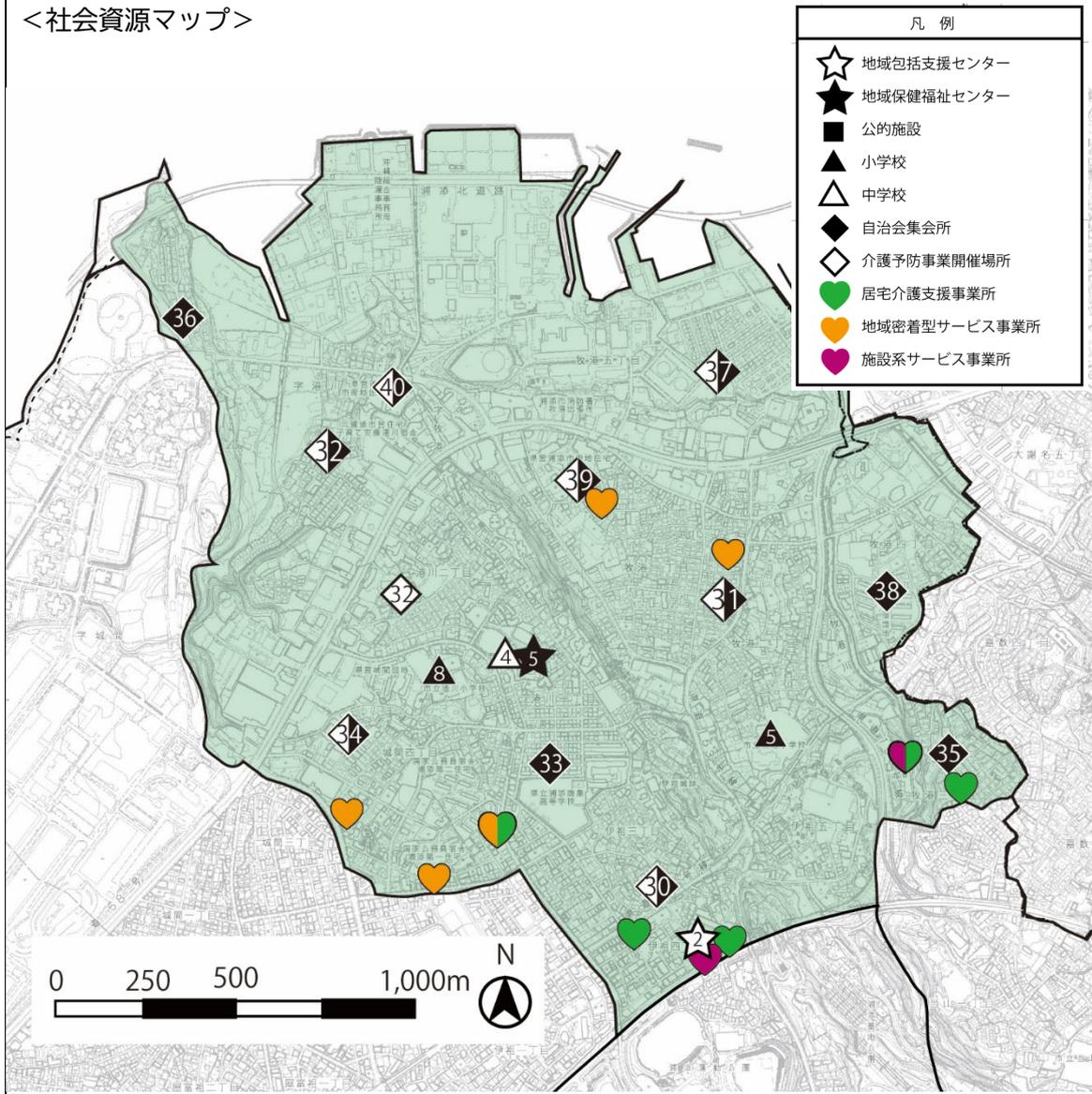
<圏域の現状> (令和5(2023)年9月末現在)

- ・人口 24,576 人
- ・世帯総数 11,087 世帯
- ・65歳以上人口(対人口比) 5,089人(20.7%)
 - ：65～74歳人口 2,701人
 - ：75歳以上人口 2,388人
- ・高齢者世帯(R5.5)
 - ：高齢単身世帯 1,679世帯
 - ：高齢者のみの世帯 918世帯
 - ：高齢者のいる世帯 3,790世帯
- ・要介護(要支援)認定者 747人(2号含む)
 - ：65歳以上の認定者 723人
 - ：65歳以上人口に占める認定者割合(14.2%)
 - ：要介護579人/要支援144人

<地域社会基盤等の現状>

- ・自治会数 11自治会(R6.1末)
- ・自治会加入率 18.6%(R5.9末)
- ・民生委員児童委員数 12人(R6.1末)
- ・老人クラブ会員数 236人
(65歳以上人口に占める割合4.6%)
- ・生きいき健康クラブ実施場所 7か所
(自治会集会所以外での実施を含む)
- ・ふれあいサロン実施場所 5か所
- ・介護予防活動等サークル 38サークル
(自治会集会所以外での実施を含む)
- ・自治会活動サークル 35サークル

<社会資源マップ>



圏域名：港川中学校区

<社会資源一覧>

☆地域包括支援センター

番号	名称	所在地
2	浦添市地域包括支援センターみなとん	伊祖4-16-1

★地域保健福祉センター

番号	名称	所在地
5	港川中学校区 地域保健福祉センター	港川1-1-1(港川中学校内2階)

▲小学校

番号	名称	所在地
5	牧港小学校	牧港2-14-1
8	港川小学校	城間4-37-1

△中学校

番号	名称	所在地
4	港川中学校	港川1-1-1

◆自治集会所および◇介護予防事業実施状況

番号	名称	所在地	生きいき健康クラブ実施◇	ふれあいサロン実施	ピラティス体操サークル実施	いきいき百歳体操サークル実施◇
30	伊祖自治会集会所	伊祖3-35-6	○			
31	牧港自治会集会所	牧港1-4-6	○			
32	港川自治会集会所	港川326	○※1	○		○※1
33	緑ヶ丘自治会集会所	港川1-6-8		○		
34	浦城自治会集会所	城間4-9-8		○	○	○
35	牧港ハイツ自治会集会所	牧港3-17-13		○		
36	港川崎原自治会集会所	字港川577-4		○	○	
37	上野自治会集会所	牧港5-19-2	○			
38	マチナトタウン自治会集会所	牧港4-1-15				
39	浦添市街地住宅自治会集会所	牧港1-59-1	○			
40	県営港川団地自治会集会所	港川(字)458-1	○			○

※1：港川地区生きいき健康クラブ・いきいき百歳体操は、自治会集会所およびユアサハイム集会所にて実施

圏域名：港川中学校区

<地区の将来人口等> (現状) (将来推計) (単位：人)

	R 2 2020	R 5 2023	R 6 2024	R 7 2025	R 8 2026	R 12 2030
・人口	24,117	24,576	24,651	24,651	24,654	24,603
・65歳以上人口	4,686	5,089	5,195	5,280	5,381	5,679
・65～74歳人口	2,525	2,701	2,699	2,671	2,661	2,643
・75歳以上人口	2,161	2,388	2,494	2,605	2,713	3,023
・要介護(要支援)認定者	653	723	760	782	806	893

※将来推計は、令和5(2023)年9月現在の各地区の市全体に対する割合で算出 各年9月末

※要介護(要支援)認定者数は65歳以上(第1号被保険者) / R5数値は令和5年3月末時点

<地区レベルの施策> (〇住民参加による施策の推進 ※関係機関等による施策の推進)

目標1 高齢者がいつまでも自分らしくいきいきと暮らすまち

- 総合健診等の各種健(検)診を定期的を受診し、自分の健康状態を把握しましょう。そして若いうちから、高血圧などの生活習慣病予防やフレイル予防、筋骨格系・運動器疾患重症化予防に取り組み、健康の保持増進に努めましょう。
- 「てだこウォーク」などの運動やスポーツのイベントに参加しましょう。
- 介護予防普及啓発事業に友人や地域の方と誘い合って参加しましょう。
- ※介護予防に関わる専門機関等は地域の介護予防に関するニーズを把握し、運動器の機能の維持向上や口腔ケア、うつ予防・支援についても取り組みます。
- 既存の地域活動や身近な地域資源、自治会集会所を活用し、心身機能が低下しても気軽に利用できる通いの場の充実に努めましょう。
- ※関係機関の連携のもと、歩いて通うことのできる場所で通いの場が実施できるよう働きかけます。また、集合住宅などの管理組合と連携し、集いの場などへの参加を促進します。
- 地域の老人クラブ活動やボランティア活動に参加しましょう。
- 中学校区地域保健福祉センターや自治会集会所等を利用し、自主サークルの活動に取り組みましょう。
- 自治会集会所等で開催される生涯学習講座等を受講しましょう。
- 小中学校の体育館や社会体育施設等を活用し、スポーツを楽しみましょう。

目標2 医療や介護サービスを選択して希望する暮らしが続けられるまち

- 認知症について、早期の発見・早期対応が大切であることから、認知症に関する理解を深めましょう。
- 人生の最終段階における医療や介護、暮らし方などに関して本人や家族が自己決定できるよう、人生について考えてみましょう。

目標3 安心安全な住まいと支え合いのある地域

- 地域の見守り等の福祉活動に参加してみましょう。
- 災害時に備えて、自治会や自主防災組織等が開催する避難訓練に参加するとともに、日頃から地域でありさつや声かけを行いましょ。
- 「災害時要援護者避難支援制度」への理解を深め、避難時に支援が必要な高齢者等へは登録を促しましょう。

目標4 高齢者を支えるネットワークが充実したまち

- 相談、支援が必要な場合には、「地域包括支援センターみなとん」等の身近な相談窓口を利用しましょう。

<圏域内の地域密着型サービス>

- ・地域密着型通所介護(デイサービス) 2か所
- ・小規模多機能型居宅介護 1か所
- ・地域密着型特定施設入居者介護 1か所
- ・認知症対応型共同生活介護 1か所

圏域名：浦西中学校区

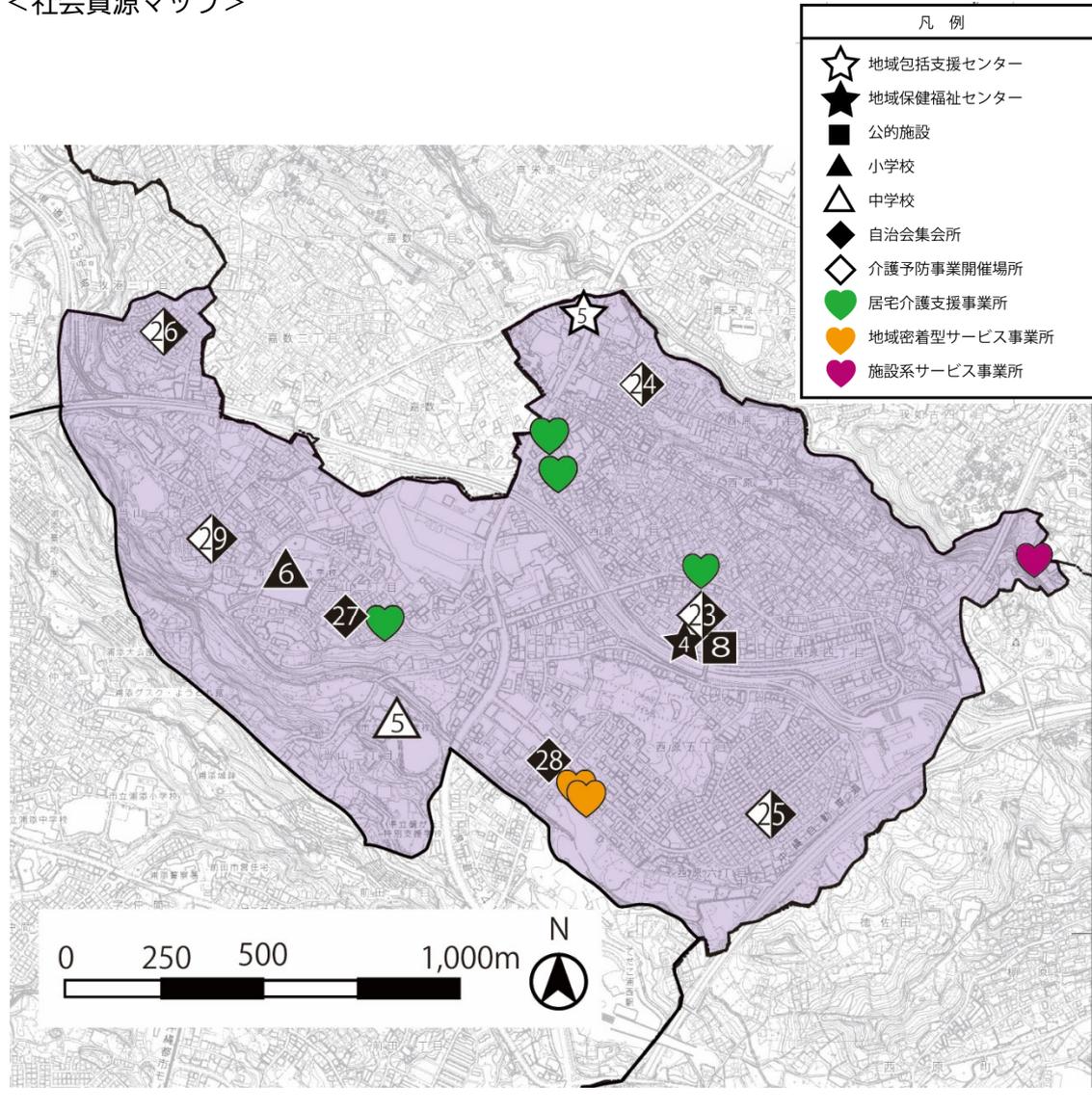
<圏域の現状> (令和5(2023)年9月末現在)

- ・人口 14,380 人
- ・世帯総数 6,386 世帯
- ・65歳以上人口(対人口比) 2,964 人 (20.6%)
 - ：65～74歳人口 1,730 人
 - ：75歳以上人口 1,234 人
- ・高齢者世帯 (R 5.5)
 - ：高齢単身世帯 796 世帯
 - ：高齢者のみの世帯 601 世帯
 - ：高齢者のいる世帯 2,063 世帯
- ・要介護(要支援)認定者 422 人 (2号含む)
 - ：65歳以上の認定者 409 人
 - ：65歳以上人口に占める認定者割合 (13.8%)
 - ：要介護 343 人 / 要支援 66 人

<地域社会基盤等の現状>

- ・自治会数 8 自治会 (R 6.1 末)
- ・自治会加入率 24.6% (R 5.9 末)
- ・民生委員児童委員数 13 人 (R 6.1 末)
- ・老人クラブ会員数 199 人
(65歳以上人口に占める割合 6.7%)
- ・生きいき健康クラブ実施場所 3 か所
(自治会集会所以外での実施を含む)
- ・ふれあいサロン実施場所 4 か所
- ・介護予防活動等サークル 30 サークル
(自治会集会所以外での実施を含む)
- ・自治会活動サークル 14 サークル

<社会資源マップ>



圏域名：浦西中学校区

<社会資源一覧>

☆地域包括支援センター

番号	名称	所在地
5	浦添市地域包括支援センター ゆいまある	西原2-3-7 1階

★地域保健福祉センター

番号	名称	所在地
4	浦西中学校区 地域保健福祉センター	西原4-11-8(浦添市かりゆしセンター2階)

▲小学校

番号	名称	所在地
6	当山小学校	当山2-34-1

△中学校

番号	名称	所在地
5	浦西中学校	当山3-1-1

■公的施設

番号	名称	所在地
8	浦添市かりゆしセンター	西原4-11-8

◆自治集会所および◇介護予防事業実施状況

番号	名称	所在地	いきいき健康クラブ実施◇	ふれあいサロン実施	ピラティス体操サークル実施	いきいき百歳体操サークル実施◇
23	西原一区自治会集会所	西原4-11-8	○	○		○
23	西原二区自治会集会所					
24	広栄自治会集会所	西原3-8-2		○		○
25	浦西自治会集会所	西原6-22-1	○	○		
26	安川自治会集会所	牧港3-30-8				○
27	当山ハイツ自治会集会所	当山2-19-15		○		
28	陽迎橋自治会集会所	西原5-12-6-103				
29	当山自治会集会所	当山2-37-6	○			

圏域名：浦西中学校区

<地区の将来人口等>	（現状）		（将来推計）			（単位：人）
	R 2 2020	R 5 2023	R 6 2024	R 7 2025	R 8 2026	R 12 2030
・人口	14,400	14,380	14,424	14,424	14,426	14,396
・65歳以上人口	2,686	2,964	3,026	3,075	3,134	3,308
・65～74歳人口	1,646	1,730	1,729	1,711	1,704	1,693
・75歳以上人口	1,040	1,234	1,289	1,346	1,402	1,562
・要介護(要支援)認定者	329	409	430	442	456	505

※将来推計は、令和5（2023）年9月現在の各地区の市全体に対する割合で算出 各年9月末

※要介護（要支援）認定者数は65歳以上（第1号被保険者）／R5数値は令和4年3月末時点

<地区レベルの施策>（○住民参加による施策の推進 ※関係機関等による施策の推進）

目標1 高齢者がいつまでも自分らしくいきいきと暮らすまち

- 総合健診等の各種健(検)診を定期的に受診し、自分の健康状態を把握しましょう。そして若いうちから、高血圧や糖尿病などの生活習慣病予防やフレイル予防に取り組み、健康の保持増進に努めましょう。
- 「てだこウォーク」などの運動やスポーツのイベントに参加しましょう。
- 介護予防普及啓発事業に、友人や地域の方と誘い合って参加しましょう。
- ※介護予防に関わる専門機関等は地域の介護予防に関するニーズを把握し、低栄養対策等についても取り組みます。
- 既存の地域活動や身近な地域資源、自治会集会所を活用し、心身機能が低下しても気軽に利用できる通いの場の充実に努めましょう。
- ※関係機関の連携のもと、歩いて通うことのできる場所で通いの場が実施できるよう働きかけます。
- 地域の老人クラブ活動やボランティア活動に参加しましょう。
- かりゆしセンターや自治会集会所等を利用し、自主サークルの活動に取り組みしましょう。
- かりゆしセンター等で開催される生涯学習講座等を受講しましょう。
- 小中学校の体育館や社会体育施設等を活用し、スポーツを楽しみましょう。

目標2 医療や介護サービスを選択して希望する暮らしが続けられるまち

- 認知症について、早期の発見・早期対応が大切であることから、認知症に関する理解を深めましょう。
- 人生の最終段階における医療や介護、暮らし方などに関して本人や家族が自己決定できるよう、人生について考えてみましょう。

目標3 安心安全な住まいと支え合いのあるまち

- 地域の見守り等の福祉活動に参加してみましょう。
- ゴミ出し等ちょっとしたお手伝いができる体制を地域で検討してみましょう。
- 災害時に備えて、自治会や自主防災組織等が開催する避難訓練に参加するとともに、日頃から地域であいさつや声かけを行いましょう。
- 「災害時要援護者避難支援制度」への理解を深め、避難時に支援が必要な高齢者等へは登録を促しましょう。

目標4 高齢者を支えるネットワークが充実したまち

- 相談、支援が必要な場合には、「地域包括支援センターゆいまある」等の身近な相談窓口を利用しましょう。

<圏域内の地域密着型サービス>

- ・認知症対応型通所介護 1か所
- ・認知症対応型共同生活介護 1か所

■市全域図

